

編集室

中央大学準硬式野球部の守備練習が素晴らしい。試合開始直前に行う、捕手が二塁ベースに入った遊撃手へ投げるといったボール回しだ。

内野手間の送球・捕球には高投や低投がない。送球者は、捕球者が捕りやすいところへ。キャッチボールの基本。フォア・ザ・チームの原点を見せてくれる。

プロ野球巨人の長嶋茂雄監督が2度目の指揮官に就いたとき、「さあキャッチボールから始めよう」と言って、周囲をドギマギさせた。「チーム一丸、気持ちを通じあう野球」という所信表明が独特の言い回しになった。

キャッチボールは、やや離れたところにいる人との握手だ。捕りやすいところに投げてもらった、私も捕りやすいところへ投げよう。思いやりは社会生活の基本。相手のニーズを把握するとも言え換えられる。

新聞社のプロ野球担当記者は、キャッチボールの相手は「信頼関係」とみて、何気ないキャッチボールでも、誰が相手かをメモしているそうだ。

中大準硬式は東都大学春季リーグ戦で3シーズンぶり通算62度目の優勝を遂げた。選手が4年で入れ替わる学生スポーツで、幾多の栄冠を得るには基本練習の上に基本を重ねてきたはずだ。

なぜキャッチボールというのか。送球が先なのだからスローボールでもよさそうだが、相手への思いやりを第一とすれば、やはりキャッチボールの呼び名がふさわしい。

単純に見えるものほど奥が深いという。中大準硬式野球部がそれを教えてくれた。

(編集長 久保田茂信)

STAFF

◎取材協力

学事部	国際センター
各学部事務室	入学センター
大学院事務室	キャリアセンター
学生部	学友会
ボランティアセンター	経理研究所
中央図書館	学員会 ほか

◎写真提供&協力

「中大スポーツ」新聞部

◎学生記者

今村直道	田村律子	高石航平
片桐将吾	土方海緒	齋藤優衣
長塚優佳	野口真莉子	津田翔
内藤伊音	山田亮太郎	古畑航希
本間友理香	宮本大句見	(順不同)
宮田詩織	中里真侑	

◎制作協力

平田碧 太田まゆみ 土谷彩絵子(株式会社ツグミ)
稲葉美枝子(株式会社オーク)
桑原和彦 村田朋隆(研精堂印刷株式会社)

NEXT
ISSUE

『HAKUMON Chuo』2018 秋号
No.258 10月7日発行予定

学生記者が
総力取材!!

お楽しみに!



2018 夏号 NO.257

2018年(平成30年)7月2日発行

発行：中央大学広報室
〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1

メールアドレス：hc@tamajs.chuo-u.ac.jp
編集担当：『HAKUMON Chuo』 ☎042-674-2048